



地域の方々と道路を歩きました

道路の整備に向け、地域の実情やニーズを聞く

まずは地域の方々と対話し、 実情やニーズを把握することから

豊後高田土木事務所管内の県道夷堅来線（小畑地区）は、集落の中心を通り、他の地域を結ぶ道路として、地域の人々の生活に欠かせない道路です。しかし、道路の現状は、十分な幅員が無かったり、カーブが急で見通しが悪い箇所があるなど、交通安全上の課題があることから、地域より道路の整備が強く望まれているところです。

そこで、豊後高田土木事務所では、道路の整備に向けて、地域の方々と現地調査を行い、道路利用者の目線から課題を整理することとしました。

意見交換会

地元の公民館にて、住民の方々と「意見交換会」を開催しました。住民の方々からは、地域の実情や困っている点など、日常的に道路を利用している方々ならではの様々な貴重なお話をいただきました。

地域の方々と現地踏査 (実際に道路を歩きながら話を聞こう)

『百聞は一見にしかず』。住民の方々の話をより正確に理解するため、約2kmの区間を、一緒に歩きながら話を聞くこととしました。

現地を見ながら話を聞くことで、正確な情報を把握し、見通しの悪い箇所や排水の問題点など、地域の課題をより深く理解できたことはもちろんですが、何より住民の方々との信頼関係を築くことができたと思います。

今後は、これらの意見を出来るだけ計画に反映し、地域のニーズに応えられるよう努力していきたいと考えています。



班総括から一言あいさつ



生活している人ならではの情報や意見も。



課題の解決策なども一緒に考えていただきました。



先は長い。無理せず休憩しながら。



しっかり今後の計画に反映させんとなあ

